

2月2日 総務環境委員会（くれまつ順子副委員長・柴田民雄委員）

請願
審査

「老朽原発は廃炉に」「慰安婦問題の解決を」 請願6件すべてが不採択に

2月2日に総務環境委員会が開かれ、11月議会で受理された請願6件と陳情1件の審査などが行われました。

自然エネルギー普及へ政策転換を

「稼働から40年前後を経過した高浜原発1号機及び2号機並びに美浜原発3号機を廃炉にするよう関西電力に要請することを求める意見書提出に関する請願」について、柴田民雄議員は、高浜原発の安全審査において「40年超え運転の合格証をもらった後に、試験をやって通ればいいということになった」「パブリックコメントでは『これでは後出しじゃんけんで何でも通ってしまう』との批判も出た。（東洋経済オンライン[2016-06-21]）」などと報道されていることに触れ、「再稼働ありきで日程を合わせるような審査方法では安全が担保されているとは言えず、住民の不安は払拭されていない。これら老朽原発は廃炉にするとともに、自然エネルギー普及への大胆な政策転換を図ることこそ、CO₂排出削減の観点からも、市民の命を守る観点からも求められている」と請願の採択を求めました。

採決の結果、自・民・公が「不採択」にしました。

同じ過ちを繰り返さない決意を

「元慰安婦の問題を解決することを求める意見書提出に関する請願」5件について、柴田議員は、1993年の河野談話で「われわれはこのような歴史の真実を回避することなく、むしろこれを歴史の教訓として直視

していききたい。われわれは、歴史研究、歴史教育を通じて、このような問題を永く記憶にとどめ、同じ過ちを決して繰り返さないという固い決意を改めて表明する」と明言していることに触れ、「この請願が2015年の日韓合意の『全ての元慰安婦の方々の名誉と尊厳の回復、心の傷の癒しのための事業』のすみやかな遂行を求めるとともに、その一環として、日本の学校教育で、過去に政府が関与して従軍慰安婦という誤った行為を行なった事実を、しっかりと次世代に伝えることと、公的な資料館に資料を保存することをもとめているものであり、日本政府の公式見解とも整合する、十分な合理性のあるものと言える」と採択を求めました。

採決で、自・民・公・減が「不採択」としました。

陳情審査 議会自ら不信の払しょくを

「議会改革として、政務活動費の領収書等をインターネットで公開することを求める陳情」について、柴田議員は、市民の政治家不信、議会不信を払しょくし、民主主義を発展させ、市民ひとりひとりの政治への参加意欲を高めてゆくためにも、議員の「第二の財布」と揶揄されている政務活動費のインターネット上での公開は今すぐ始めるべきだとし、大阪市会では、2015年5月交付分から、政務活動費に係る収支報告書及び領収書等の写しをインターネット公開していること等にも触れ、早急に議会改革推進協議会を開催し議題に上げていただきたいと強く求めました。

総務環境委員会での請願審査の結果（2017年2月2日）

請願・陳情名（請願・陳情者）	請願項目	各会派の態度					結果
		共	自	民	公	減	
稼働から40年前後を経過した高浜原発1号機及び2号機並びに美浜原発3号機を廃炉にするよう関西電力に要請することを求める意見書提出に関する請願（天白区住民 A）	稼働から40年前後を経過した高浜原発1号機及び2号機並びに美浜原発3号機を廃炉にするよう関西電力に要請する	○	●	●	●	○	不採択
元慰安婦の問題を解決することを求める意見書提出に関する請願（日本軍「慰安婦」問題の解決を求める会・中村）等5件	下記の意見書提出を 1 日韓合意の履行は、一刻も早く納得のいく解決となるよう誠実に進める 2 歴史的事実として記載した図書を教科書に 3 資料が失われないよう、公の資料館に展示を	○	●	●	●	●	不採択
議会改革として、政務活動費の領収書等をインターネットで公開することを求める陳情（天白区住民 B）	議会改革として、政務活動費の領収書等をインターネットで公開する	ききおく					1

○＝賛成 ●＝反対 共：日本共産党 自：自民党 民：民主党 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ